

ピアノ調律 音の差実感

ピアノの調律に魅せられた青年の成長を描いた映画「羊と鋼の森」の封切りを前に、掛川市領家のヤマハ掛川工場で三十日、調律が体験できる限定ツアーがあった。都内や名古屋市から三十八人が参加し、鍵盤をたたきながら、弦の張り具合を調整する「チューニングハンマー」を回し、微妙に変わる音色に感心していた。

(赤野嘉音)

ヤマハ掛川工場でツアー

「感覚をつかむのが難しい」「ハンマーを戻すのに力がある」。インストラクターの手ほどきで調律を体験する参加者は興味津々。聴力だけでなく、音の高低差を確認できる電子チューナーの目盛りにも気を配りながらの作業を楽しんだ。五十代

の女性は「高校卒業までピアノを習っていたが調律は初めて。隣の鍵盤の音との違いや高低差をつかむ感覚は難しそう」と話した。

ツアーは、ヤマハや阪急交通社、中日新聞社などが参加する映画の製作委員会が企画。ピアノの製造工程を見学後、同工場で調律師を育成する「ピアノテクニカルアカデミー」の一室で行われた。

管理責任者の中田吉彦さん(五七)は、都内で開催された試写会を振り返り、「若手からベテラン俳優が調律の仕方や立ち居振る舞いまでしっかり演じていた。映画を通じて調律師を志す若者が増えてくれたら」と期待した。

同工場はアップライトピアノの製造拠点として一九六五年に操業開始。二〇一〇年には浜松市中区の本社工場からグランドピアノの製造も移管された。通常の工場見学は月一金曜日に予約制で行っている。●ヤマハ掛川工場ハーモニープラザ〓0537(24)80069

映画「羊と鋼の森」封切り控え

羊と鋼の森 新米調律師がピアノに関わる多くの人に支えられて成長するストーリー。2016年本屋大賞を受賞した宮下奈都の同名小説を映画化した。若手人気俳優の山崎賢人を主人公に、三浦友和や鈴木亮平らが脇を固める。6月8日から全国公開する。



インストラクターのアドバイスを受け調律体験する

ツアー参加者ら＝掛川市領家のヤマハ掛川工場